

取組事例の名称	平成23年度 仙台東特定災害復旧事業農地復旧及び除塩（その1）工事
<p>3. 工事等の実施に当たっての課題や留意した事項、苦労した事柄・教訓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ H鋼のサイズを何種類か用意してより良いサイズを選定したが、早急に用意できたサイズのみだったため、もっと良い選択もあったのではないかと考える。 	
<p>4. 実施後の成果に対する発注者や地元住民等の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 耕作土のすきとりを最小限に抑えられ、地権者からの評価も良好であった。 	
<p>5. 採用した技術に対する改善点、望まれる技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 取り付けたH鋼は既製品であるため、すきとり面はフラットである。すきとり面に若干の窪み加工を施せば、より効果的である。 	
<p>6. 今回の取組を通じ、将来の災害対応の為に準備すべきと感じた事項</p> <p>津波をうけた農地復旧方法の確立及び早期実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害後時間の経過とともに雑草が目立ち、工事の進捗を遅らせる。 ・ 堆積土砂は塩分も含んでいるが、養分も豊富なため、出来る限り作土をより多く残す除塩方法を確立しておくべきである。 	
NETIS登録	